

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当事業所独自に理念を作り内部にも行き届くように職員同士話すようにしている。また、常々確認し合っている。	フロア掲示板に掲示し来訪者等にもわかるようにしている。職員間での理解を深めるような話し合いが少ないかもしれない。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の生活の中でお互いの話し合いの場を数多く設けて具体的な仕事に生かせる様に取り組んでいる。	継続しておこなっていく。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居者様の誕生日や敬老会などのイベントに招待所をだし、面会時にお話をさせていただいて理解をもとめてる	現状に満足せずもっとイベントの回数や質の向上を図っていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時や毎日の生活でコミュニケーションをはかり常にオープンな施設を目標にするよう心掛けている	施設としてはまだ新しいが地域的には40年以上の近所との付き合いがあり日常の挨拶などは当たり前のこととなっているが内部的な交流とすると少々不足です。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の保育園や学校などに積極的に声掛けを行っている。(行事等)しかしあまり快い対応をもらえず憤りを感じている。	まだグループホームがよく理解されていないのか断られる事があるが声かけを続けて行きたい。秋のお楽しみ会を交流センターを借りて催した。センター長はじめセンターのスタッフさんには意識つけられたと思う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2カ月ごとに行われるミーティングや運営推進会議などで民生委員の方や地域の方を呼んで話し合いを行っている。		話し合いだけではなく何か実行できないか行動していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々、行っているカンファレンス等で具体的に改善すべき点を確認改善するように意識している。		随時行っているカンファレンス等を通して理解を高めるようにしなければならないと思う。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	どのサービスがもっともいいのか第三者の意見も積極的にとりいれたい。		ケアマネージャーや現場の職員と連携を強化しサービスの向上や質を上げていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所が近いこともあり何か分からないことや疑問などは積極的に訪問している。		継続しておこなっていく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在も相談を受けているので、支援やサポートできるように継続していきたい。		知識的にまだまだ知識や勉強不足なので支援するにはこちらも、もっと勉強していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュースや報道で取り上げられているので特に注意をし入居者様の支援をできるように心がけている。		こちらが虐待とっていない事も虐待となる事があるのでカンファレンス等で意識をたかめたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約する際は何度も面接を行い不安や疑問点をなくすように努めている。</p>	<p>契約する際は何度も面接を行い不安や疑問点をなくすように努めている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に利用者さんにリクエストや要望がないか聞きそれらを取り組めないかミーティングなどで話し合っている。</p>	<p>定期的に利用者さんにリクエストや要望がないか聞きそれらを取り組めないかミーティングなどで話し合っている。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>週2回診療所の訪問があるので何か異変があれば即座に家族に連絡できるようにしている。</p>	<p>週2回診療所の訪問があるので何か異変があれば即座に家族に連絡できるようにしている。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所入口に目安箱の設置をし、面会時になるべくお話をさせていただいて意見を聴くように心がけている。</p>	<p>事業所入口に目安箱の設置をし、面会時になるべくお話をさせていただいて意見を聴くように心がけている。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週2回のカンファレンスやミーティングを行い確認している</p>	<p>週2回のカンファレンスやミーティングを行い確認している</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員に希望休や施設への不満がないか常にコミュニケーションを図り話し合いをつくれる環境作りを行っている。</p>	<p>職員に希望休や施設への不満がないか常にコミュニケーションを図り話し合いをつくれる環境作りを行っている。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員に希望休や施設への不満がないか常にコミュニケーションを図り話し合いをつくれる環境作りを行っている。</p>	<p>職員に希望休や施設への不満がないか常にコミュニケーションを図り話し合いをつくれる環境作りを行っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や懇談会など決まった人が行くのではなく職員全員が理解共有するようにミーティングなどで話し合いを行っている。	研修会や懇談会など決まった人が行くのではなく職員全員が理解共有するようにミーティングなどで話し合いを行っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福祉協議会や市役所の懇談会に積極的に参加し意見交換や面識を行いいいところを取り入れていくように心がけている。	福祉協議会や市役所の懇談会に積極的に参加し意見交換や面識を行いいいところを取り入れていくように心がけている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会や忘年会などでストレス発散の場をもうけ愚痴や不満があれば聞き入れ改善できる所を改善するように取り組んでいきたい。	食事会や忘年会などでストレス発散の場をもうけ愚痴や不満があれば聞き入れ改善できる所を改善するように取り組んでいきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スキルアップや知識の向上を図る為勉強会、ミーティング等で自分に足りない所などを勉強するようにしている。	スキルアップや知識の向上を図る為勉強会、ミーティング等で自分に足りない所などを勉強するようにしている。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居時に利用者さん本人にも面接を行い不安や困っている事を聞き出来る限りの支援をおこなえるよう取り組んでいる。	入居時に利用者さん本人にも面接を行い不安や困っている事を聞き出来る限りの支援をおこなえるよう取り組んでいる。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事業所入口に目安箱の設置をし、面会時になるべくお話をさせていただいて意見を聴くように心がけている。	事業所入口に目安箱の設置をし、面会時になるべくお話をさせていただいて意見を聴くように心がけている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方がグループホームより他のサービスの方がいい場合はケアマネや市と相談しご家族や利用者さん本人に説明している。		その方がグループホームより他のサービスの方がいい場合はケアマネや市と相談しご家族や利用者さん本人に説明している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず施設に馴染んでもらえるようにレクや食事の時間など職員がサポートし早く溶け込めるように支援する。		まず施設に馴染んでもらえるようにレクや食事の時間など職員がサポートし早く溶け込めるように支援する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	なんでも職員がやってしまうのではなく、本人と一緒にケアなどを通じて共有できるように心がけている。		なんでも職員がやってしまうのではなく、本人と一緒にケアなどを通じて共有できるように心がけている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	広報誌などでお便りをだしたりしご家族にも知っていただきやすい環境作りをしている。		広報誌などでお便りをだしたりしご家族にも知っていただきやすい環境作りをしている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	トラブル等おきないように支援を行っている		トラブル等おきないように支援を行っている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の住んでいた家に連れていって近所の方との交流が随時出来るようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者さん達が穏やかに過ごせるように職員が間に入ったり見守ったりしあたたかい環境作りを心掛ける。		利用者さん達が穏やかに過ごせるように職員が間に入ったり見守ったりしあたたかい環境作りを心掛ける。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去した後もなんでも相談があればいつでも受けるむね伝え可能なかぎりサポートを心掛ける。		退去した後もなんでも相談があればいつでも受けるむね伝え可能なかぎりサポートを心掛ける。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	趣味や希望などはできるだけ取り入れレクなどをとって可能なかぎり行えるようにしている。		なるべく1人でせずみんなでできるような気配をできるようにしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	以前の情報提供表などを見て本人とも面談し情報を得たうえで入居を促すようにしている。		以前の情報提供表などをみ本人とも面談し情報を得たうえで入居を促すようにしている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	以前の情報提供表などをみ本人とも面談し情報を得たうえで入居を促すようにしている。		以前の情報提供表などをみ本人とも面談し情報を得たうえで入居を促すようにしている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の希望や本人の希望をできるだけ取り入れケアマネとも検討してその人にとってよりよい支援を行えるようにしている。		家族の希望や本人の希望をできるだけ取り入れケアマネとも検討してその人にとってよりよい支援を行えるようにしている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しや変更がある場合などは本人や家族と相談して意向にそえる感じで行う。		介護計画の見直しや変更がある場合などは本人や家族と相談して意向にそえる感じで行う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌やケアの記録を毎日行い週2回のカンファレンスをとうして共有を図る。		介護日誌やケアの記録を毎日行い週2回のカンファレンスをとうして共有を図る。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	常に要望や希望などを聞き可能なかぎり取り入れ支援を行っている。		常に要望や希望などを聞き可能なかぎり取り入れ支援を行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員の方やボランティアなどを積極的に取り入れ地域でのケアを目指し行っている。 エステシヤンの方の随時のお手入れ、業者参加の下実施した避難訓練。		民生委員の方がお茶の先生であったので施設でお茶会を開いてもらった、今後も継続して行っていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護度が重くなった場合や軽くなった場合に必要に応じて他のサービスも進め家族との相談をするようにしている。		介護度が重くなった場合や軽くなった場合に必要に応じて他のサービスも進め家族との相談をするようにしている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつの医師がいる場合はそちらを優先させ、納得した治療を心掛けている。		かかりつの医師がいる場合はそちらを優先させ、納得した治療を心掛けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	自分の所の看護師や提携している医師と連携を図りながら診断や治療を行えるようにしている。		自分の所の看護師や提携している医師と連携を図りながら診断や治療を行えるようにしている。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	以前いた病院の看護師さんやケアマネさんと相談し医療や介護の面で問題がないように心がけている。		以前いた病院の看護師さんやケアマネさんと相談し医療や介護の面で問題がないように心がけている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	往診していただいている医師や相談員と連携を図り早期に退院できるように常日頃から相談をしている。		往診していただいている医師や相談員と連携を図り早期に退院できるように常日頃から相談をしている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に同意書をもらい家族や医師と相談しながらトラブルがないように情報を共有している。		入居時に同意書をもらい家族や医師と相談しながらトラブルがないように情報を共有している。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	いばらぎ診療所の往診を定期化しているため色々な支持をこまめに受けられ当事業所は積極的に取り組んでいる。スタッフも一丸となり対応している。		診療所の具体的な往診結果や生活の状況などをご家族に伝えながら家族の希望などを考慮して対応している。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	詳しい情報提供書や話し合い等を通して正確に情報が伝達するように心がけている。		多くは入院して行くケースが多いが、こちらからも具体的の情報提供書を出す事により具体的な情報が伝わるように促している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人一人に接遇態度を確認するように常々話しあっている。特にカンファレンス等を通して言葉使いにはくれぐれも気を付けるようにしている。	職員ミーティングで接遇に対しての勉強をお互い確認あった。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の生活の中で話し合いが密に行われるように心がけている。特に体を触れ合っのスキンシップを重要視して気軽に意見を聞けるように努力している。	ケアプランに沿って一人一人に毎日行うケアチェック事項を決めている。各自のリハビリ等をしながら職員と一対一の会話ができるようにしている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は比較的外出を希望する事が多く天気や気温に左右される事はあっても比較的外出できるようにしている。	職員の内部で『散歩責任者』を決めて積極的に散歩ができるようにしている。しかし仕事に追われてしまいがちで利用者が希望しても外に出れない時もある。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	特に女性の利用者は外出時お化粧品をしたりマニキュアを好むのでお化粧品やマニキュアを用意して施してあげようになっている。体調的に心配ない利用者はパーマを希望したため美容院でのパーマができるようにした。	特に秋のお楽しみ会の時には全員化粧して喜んで参加してくれた。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一週間の献立を利用者の希望を取り入れられるようにしている。後片付けや食器洗いは出来る利用者様には手伝ってもらえるようにしている。	なかなか食事の準備に参加させることが難しく、味見等してもらったりしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコを吸いたくっているが病氣的に医師に止められるため希望は聞いていない。誕生日等で少しビールを飲んでもらう事がある。	期間を決めて『外食期間』として交代制で職員付き添いのもとで外で食事する機会を設ける事がある。もっと行く回数を増やしたいと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の自覚症状がない利用者に対して時間を見計らって排泄を促している。各利用者ごとに時間及び内容をチェックしている。		高齢者は便秘には敏感で神経を使う傾向にあるため、排便及び体調管理担当の職員を決めて3日は排便がない時には下剤を服用して貰うようにしている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調を聞きながらの入浴を心掛けている。自然とペースが一日おきの入浴となっている。必ず入浴剤を利用してゆっくり入浴できるように努めている。		自然と入浴日が決まってしまうが、色々な都合の時には時間的な事を配慮している。出来れば日帰り湯など公共のお風呂にも連れて行ってみたいと思っている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠剤を服用している利用者が多いので状況に応じて服用するようにしている。		夜遅い番組を見たいと希望する利用者には夜勤者が付き添い食堂で見えるようにしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	特に合唱や切り絵などい色々なレクリエーションを実施している。歌詞をファイルにしてみんなで歌を歌ったりする。好きな編み物などをする利用者がある。一緒に毛糸を買い物に行ったりした。		毎日のレクリエーションで塗り絵や手作業を促すがなかなか利用者参加が難しいところがある。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭に関しての関心が強く認知症から「盗まれた」と訴える利用者が多いため一切居室に金銭を置かないようにしている。買い物や外出時にはお財布を持って出かけられるようにしている。		「無くなった、盗まれた」と訴えがあるためお金を本人持ちにしないようにした。しかし本人的には物足りなさを感じているようである。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	基本的にいつでも外出できるように心がけている。職員と一対一で外出を希望する利用者にもいつでも応じるようにしている。		外出しながら近くのお店でアイスやお汁粉、コーヒーなどを食べてくる。それを楽しみに出かける利用者も多い。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	吉田記念館に交代で全員で出かけて外食をした。お楽しみ会を催した時、家族と一緒に参加できる機会を設けた。お誕生会の時に近くのカラオケルームに出かけた事もある。たまにヨーカドーなどにも買い物に出かけたりしている。		出来るだけ外の空気に触れながら、色々な場所に出かけたり外食をしに行くなど積極的に支援して行きたいと思う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい利用者はいつでも職員が介助してかけられるようにしている。		携帯電話を持っている利用者もいるが充電等は出来ないため職員が介助している。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に面会できるように開かれた施設を目指している。ある家族の方の要望で職員の紹介写真を1階掲示板横に貼り馴染みやすい施設を目指している。職員ミーティングでは接遇態度に関して勉強して初心の心得を再確認している。		誰が訪れても挨拶を欠かさない事をもっと確認したい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンスや日々の介護の中で話し合いながら取り組んでいる。どうしても危険性のある利用者の家族から同意を得てしている拘束がある。		現在、腰ベルトやベット柵に関しては家族の同意書を得ているが徐々に廃止出来る様に支援していく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をかけない。玄関には鍵をかけないが通常の開け方では開かない。しかし当たり前という認識が強いため利用者に対して見守りを重視していく。		『鍵をかけないケア』という認識が薄いように感じる。徘徊する人や非常階段から出て行ってしまう事を防ぐためにはどうしたらよいかを話し合わなければならないと思う。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士の申し送りを強化し体調管理等を観察しながら安全に過ごせるように心がけている。		他の利用者の部屋に出入りしてしまう利用者に対しての見守りが必要かと思う。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	オムツを必要以上に持ち歩きトイレに流してしまう事がある利用者に対してはオムツ、パットは職員控室にて預かっている。又、寒さを感じない利用者が夏用のパジャ季節外れの衣類に着替えてきたりするため居室に置かないようにしている。		衣類や物品に関して家族の方と話し合いながら処分したり自宅に持って行ってもらったりしている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日常のちょっとした事故に対してもヒヤリハットを作成するようにし職員全員で確認し合っている。		積極的なヒヤリハットを利用する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急法の講習等に参加し知識を高めるようにしている。		職員数が絶対的に足りないため講習などがあっても参加させることが出来ないのが現状であるがなるべく講習等には参加し知識を得るようにしたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常食を確保している。業者立会いの下での避難訓練を実施した。また近隣の方々の協力を得て災害時に駆けつけてくれる事を快諾してくれている。		非常食の確保や地域ボランティアの確保など危機感を持って取り組んでいかなければならないと思う。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会に来る家族への説明、もしくは診療所診察時の意見等について随時説明するようにしている		職員が家族の面会者と話したりする機会が少ないかもしれない。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員同士の申し送りを強化して随時対応している。診療所往診依頼など適切に対応するようにしている。		職員間の連絡ノート等を利用し利用者の状態を把握している。管理者にも報告するようにしている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬担当の職員を置き処方される服薬整理を担当している。薬情の説明書をそのつど個人ファイルに入れて職員全員が理解するようにしている。常薬以外の服薬に関しては徹底した記録を取るようにしている。		食後の服薬に関して飲み込むまでの見届けを重視するようにしている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックをしながら3日排便がない利用者に対して処置を施している。(例一下剤投与など) 食事やおやつに食物繊維の多い食べ物を出すようにしている。		薬に頼らず運動などで排便調節ができるように心がけたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自立でケアが出来ない利用者にはガーゼ等で口腔内を清潔にしてあげるようにしている。		昼食後の口腔ケアがおろそかになっている面があるので、歯磨きを促したりするようにしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	高齢者の水分摂取は重要だという事を職員全員で認識している。特に水分摂取で注意が必要な利用者もいるため利用者全員の水分量をチェックするため表に記録している。	病的に水分摂取が重要だという事に理解を深め日々の生活の中での確に与えられるようにしたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は利用者とともに全職員接種済です。C型肝炎の利用者もいて職員同士では注意するように話し合っている。利用者の入浴に関しても注意を払っている。食事前には必ず利用者、職員は手消毒している。	知識的に危機感を持って食毒や感染防止に努めたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	一日の終わりには必ずまな板、フキンとはハイター消毒をしている。	食材の担当者を決めて傷んだりする食材がないように心がけている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	町場に位置している当施設は建物前面に駐車場になっておりなかなか工夫が施せない状態です。駐車場横にプランターを置きささやかな野菜等を作り利用者にもぎ取りをしてもらい楽しんでもらっている。	1階フロアに掲示板を設けて随時写真掲載など変えている。建物の周囲の工夫を考えなければならないと思う。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室や食堂に手作りの塗り絵カレンダーや写真などを貼り心地よく過ごせるようにしている。	各階の廊下や食堂の飾り付けを欠かさず実行している。利用者にも積極的に参加してもらい手作りの物にするように心がけている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の隅のテレビ前にソファーやテーブルを置きお茶を楽しんだりできるようにしている。	建物が改築物であるため思うようなスペースが確保できない面もあるが、利用者にとって比較的食堂の共有部分が好まれるようだ。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各利用者の担当職員を決めて心地よく過ごせるようにタンスの中の性整頓等に配慮している。各居室に利用者独自の写真などを貼り気持ち良く過ごせるようにしている。		使い慣れた家具などの持ち込みを奨励しているがなかなか難しい面がある。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	出来るだけ換気を促しエアコンのこまめな操作をするように心がけている。		特に冬場の加湿を重視している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物自体が改築物なので身体のリハビリ等で不十分なのだが、廊下の手すりなどを利用して歩行訓練や立位保持のリハビリを促している		段差や勾配が少々有り歩行に麻痺がある利用者にかんしては絶対的な見守りが必要だと感じる。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	朝の清掃を一緒にしてもらっている。モップがけやぞうきんがけ等積極的に参加してくれる。又、塗り絵や編み物が出来るようにしている。		利用者の家事参加や趣味の事にもっと積極的に参加を促したい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の屋上に行き外気に触れたり日光浴をする機会を設けている。		構造上、不十分ところが多いが外壁と駐車場の間の小さな空間を畑のように野菜を作ったりしいた。発砲スチールの畑でもナスやトマトを作ったりした。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日頃から入居者さまの体調管理に気を配っています。特に診療所との提携により日々の健康管理をしっかりと行っています。又、当施設が市街地に立地している条件を利用し入居者さまが散歩や買い物等を楽しめる機会を多く持つように配慮しています。外部との接触する機会を多くするために近くの交流センターを借りて『お楽しみ会』を催しました。